

神大テクノフェスタ 2019 ショートプレゼンテーション

発表者：松木 伸行

新しいコンセプトに基づく太陽電池／環境関連材料の作製プロセスおよびデバイスの開発

要旨：

未来エネルギー工学研究室では、主要な再生可能エネルギーデバイスの一つである太陽電池やその関連材料、そして環境の浄化や評価を行える新しい材料やそれらを応用したデバイスの研究開発を推進しています。本発表では、本研究のコンセプトや進捗について概要をご紹介します。また、オープンラボおよび以下のポスター発表にて研究の詳細をご覧ください。ただければ幸いです。

- (1) 静電塗布法によるペロブスカイト太陽電池材料の開発
- (2) ペロブスカイト太陽電池材料の新規薄膜作製プロセス開発
- (3) 有機／無機ハイブリッド構造による透明太陽電池の開発
- (4) 電界印加型電子ビーム蒸着法による太陽電池用 Si 薄膜の作製
- (5) UV/IR レーザー堆積法によるエネルギー新材料の創製
- (6) 環境浄化電子触媒デバイスの開発
- (7) レーザー堆積法による固体 DNA 薄膜の作製 –環境・生体エネルギーデバイス／センサの創製を目指して–